

理数コース 校外実習①「磯の生物観察」

7月4日火曜、晴天。

12:30に干潮を迎える荒磯松海岸にて、磯の生物観察を行いました。知多自然観察会の降幡さん、山田さん、浅井さんを講師として、磯の生物の生態や観察の注意点などのレクチャーを受けました。潮が引くまでの時間で炭素の循環についてお話しいただき、デモンストレーションで行った実験がうまくいったときには盛大な拍手が起こりました。日々の勉強で得た知識が自然観察のなかで生きた知識として繋がる瞬間になったのではないかと思います。



はじめは磯で生物を見つけることが難しく、ウニやヒトデ、ヤドカリのような動きの少ない生物を捕獲するので精一杯でしたが、帰るまでには岩陰に隠れたウミウシや動きの素早い魚などを捕獲する生徒も...!



磯の観察を終えたあとはミツカンミュージアムで酢の醸造に関する学習を行いました。酢ができるまでの工程やミツカンの歩み、地域や社会とのかかわりについて知ることができました。日々の学習で得た知識が社会の中でどのように活用されるのか、考える契機となりました。

～感想～

- 貝の殻が二酸化炭素のSDGsに役立っているのが以外で面白かった。
- 生息している環境を利用して餌をとったりしていて面白く、詳しく調べたくなった。
- お酢を作る菌が身近に要る事が分かり意外であった。
- 身近な調味料に化学が関係していて興味深かった。